

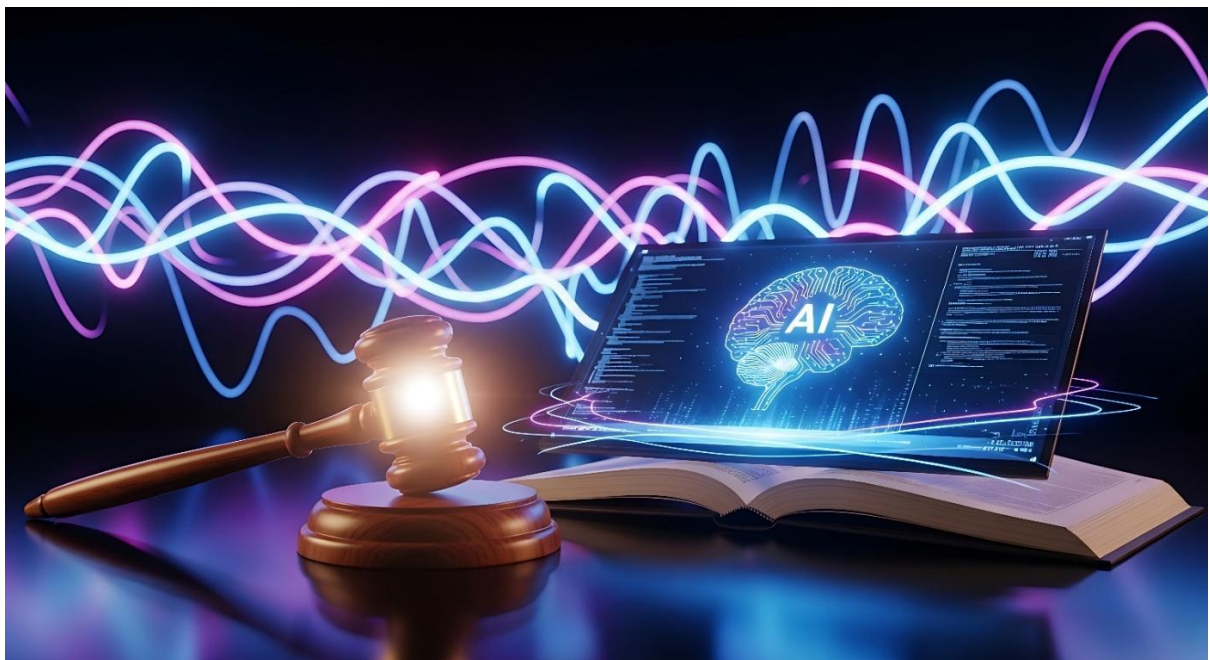
**法改正のたびに発生するシステム改修コストを構造的に圧縮  
規制産業向け「AI-Rule as Code」ソリューションの提供を開始**

～規制対応の効率化だけでなく、AI エージェントが安全に自律動作するためのルール基盤へ～

製造・金融・自動車をはじめとする規制産業では、法令・業界基準の改正のたびに、影響調査・仕様変更・システム改修・テスト・監査対応という一連のプロセスが発生し、案件規模や対象範囲によっては、1件あたり数千万円から数億円規模の対応コストが発生するケースもあります。しかも、このコストは法改正のたびに繰り返し発生し、対象となる規制・製品・拠点が増えるほど拡大しやすい構造にあります。

株式会社ヘッドウォータース（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介）は、このような構造的課題を解決するため、法規制や業界基準をプログラムとして構造化し、法改正時の影響反映および適合性確認に関する一次評価を自動化する「AI-Rule as Code (AI-RaC)」ソリューションの提供を開始いたします。

株式会社ヘッドウォータースコンサルティングおよび株式会社ヘッドウォータースプロフェSSIONナルズとの3社連携により、構想策定から技術実装、組織定着までを一貫して提供します。



本ソリューションは、法解釈そのものを代替するものではなく、企業内で確定した規制要件・業界基準・社内ルールを、業務やシステムへ一貫して反映するための構造化・運用基盤です。

当社は今まで多くの業界・分野で法制度のデジタル化プロジェクトを経験しており、そこで蓄積した Rule as Code（自然言語で書かれた法律や規制を、AI やシステムが扱いやすい形に整理する考え方）のノウハウと、Anthropic 社の「Claude」を活用したガバナンス対応型 AI 駆動開発の技術基盤を組み合わせたものです。

構造化されたルールを仕様として、設計・実装・テストへ一貫して反映することで、仕様変更時の影響把握や改修方針の整理を AI が支援し、規制産業における手戻りの削減や対応負荷の軽減を目指します。

## ■ 背景：規制対応コストの構造的問題

製造・金融・自動車をはじめとする規制産業では、法令や業界基準が変わるたびに、影響調査、仕様変更、システム改修、テスト、監査対応といった作業が繰り返し発生します。このような対応は、法務、業務部門、IT 部門の間で解釈や認識がずれると手戻りが起こりやすく、対象製品や拠点が増えるほど負担が大きくなりがちです。

一方で、いま企業に求められているのは、単に法改正対応を効率化することだけではありません。AI エージェントや自律型システムの活用が進む中で、自然言語で書かれた規則や基準を、そのままでは AI が安定して扱うことは難しく、AI が判断根拠として参照できる構造化されたルール基盤が必要になっています。

国においても、制度や法令をデジタル化することを前提に、より扱いやすい形へと整備する動きが進んでいます。デジタル庁では、法制事務のデジタル化、法令データや法令 API の整備、AI を活用した法制事務補助ツールの開発、Rule as Code を含む海外先進事例の調査など、「法令」と「デジタル」を掛け合わせた取組を推進しています。さらに、制度をアナログ前提からデジタル前提へ見直す流れや、AI 活用の推進も進展しています。

このような環境変化の中で、企業に求められるのは、法改正のたびにゼロから対応することではなく、ルールそのものを構造化し、変更時の影響分析や反映を再利用可能な形で進められる基盤を持つことです。AI-RaC は、規制対応コストの圧縮にとどまらず、将来的には AI エージェントが安全かつ一貫性を持って動くための判断ルール基盤となることを目指しています。

## ■ AI-RaC ソリューションについて

AI-RaC ソリューションは、以下の 3 つのコンポーネントで構成されます。

### 1. ルール構造化エンジン — 法規制を「再利用可能な資産」に変換

自然言語で記述された法令・規制・基準文書を、Anthropic 社の「Claude」が有する高精度な自然言語理解能力とロングコンテキスト処理性能を活用して解析し、条件分岐や判定ロジックを機械可読な形式（JSON／コード）に変換します。条文の階層構造、論理関係（AND／OR）の抽出、国際的に実績のある Rule as Code フレームワークへのモデリングまでを一貫して実施します。

構造化されたルールは共通資産として蓄積・再利用可能です。同一の規制に準拠する複数の製品、サービス、事業部門へ横展開でき、対象が広がるほど、構造化への投資回収効率が高まります。

## 2. 自動判定・適合確認システム — 判定根拠のトレーサビリティを確保

構造化されたルールに対して、対象データ（製品仕様、取引条件、顧客属性等）を入力することで、適合性確認の一次評価を自動化し、確認プロセスを支援します。条件に応じた追加確認項目の提示にも対応しており、確認業務の網羅性向上を支援します。

判定ロジックをコードとして管理することで、「この判定がどの規制要件に基づくものか」といった根拠のトレーサビリティを確保しやすくなります。さらに、仕様駆動開発の考え方にに基づき、構造化されたルールからテストケース整備を支援することで、監査対応や内部統制に必要な説明可能性の向上を目指します。

## 3. ルール更新・配信プラットフォーム — 法改正対応の自動化

法改正や基準変更時には、Anthropic 社の「Claude」が改正文書の変更点抽出、要約および影響範囲の整理を支援し、既存の構造化ルールに反映するための案作成を支援します。更新されたルールは、判定システム、社内業務システム、外部サービス、帳票等の各チャネルへ一元的に展開可能です。

ルールの変更履歴はバージョン管理され、「いつ・どの規制が・どのように変更され・どのシステムに反映されたか」を追跡しやすくすることで、従来は改正のたびに発生していた「影響調査→仕様変更→改修→テスト」の一連の対応を効率化します。

### 想定する活用シーンと導入効果

業界	現状の課題	AI-RaC による解決	期待される事業効果
製造業	各国の安全基準・品質規格の改正に製品ごとに個別対応。改正時の影響調査と改修に数ヶ月を要する	基準をコードとして構造化し、改正時はルール定義の更新で判定ロジックが連動。複数製品への一括適用が可能	改正対応工数の 30~50%削減を見込み、多製品・多拠点への展開時も共通ルールの再利用により追加対応負荷の抑制が期待される
金融業	規制改正のたびにコンプライアンスチェックシステムを手動改修。改修漏れによる規制違反リスク	取引審査・適合判定ルールを構造化し、改正差分の自動検知と影響範囲分析を実現	規制変更時の初動整理・影響分析の 50%以上の短縮を見込み、監査証跡の整備や審査業務の迅速化による運用負荷の軽減が期待される
自動車	型式認証・排ガス・機能安全（ISO 26262 等）の規格改訂に都度対応。認証準備に長期間を要する	認証要件を構造化し、適合判定とエビデンス生成を自動化。規格改訂時の差分反映を迅速化	認証要件改訂時の差分整理・確認作業の効率化により、認証準備期間の短縮と監査説明資料の整備工数の削減が期待される

## ■ 今後の展望：ルールライブラリの蓄積によるストック型事業への進化

当社グループは、AI-RaC ソリューションの導入実績を通じて、業界別のルールライブラリを体系的に拡充してまいります。構造化済みのルールが蓄積されるほど、新規導入時に必要な構造化工数が減少し、導入期間の短縮および構築コストの低減が進みます。この「導入が増えるほど、次の導入が容易になる」サイクルにより、事業のスケラビリティと収益性の向上を図ってまいります。

仕様駆動開発の適用範囲についても、規制対応領域にとどまらず、業務要件、契約条件、SLA など、あらゆる「ルールに基づく判断」が求められる領域への拡張を構想しています。「自然言語で書かれたルールが、そのまま動くソフトウェアとなる」という世界観のもと、仕様と実装が乖離しない開発プロセスの標準化を、規制産業を起点として推進してまいります。

加えて、規制産業に顧客基盤を有する Sier やコンサルティングファームとのアライアンスを通じて、AI-RaC ソリューションの適用範囲を拡大してまいります。当社の Rule as Code 実装ノウハウおよびルール構造化エンジンを、パートナー企業が有する業界知見や顧客リレーションと組み合わせることで、単独では到達が難しい業界・領域への展開を加速します。パートナー連携により蓄積されるルールライブラリは共通資産として活用可能であり、エコシステム全体の導入効率が継続的に向上する構造を目指します。なお、アライアンスにご関心をお持ちの企業様からのお問い合わせも歓迎いたします。

以上

## ■ 参考情報

・ Anthropic 「Claude」 を活用したガバナンス対応型 AI 駆動開発を本格推進～エンタープライズ水準のガバナンスで、大手案件を含む複数プロジェクトに実装・運用を拡大～

<https://www.headwaters.co.jp/news/anthropicclaudeai.html>

## ■ 商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## ■ 会社情報

会社名：株式会社ヘッドウォータース

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設立：2005 年 11 月

URL：<https://www.headwaters.co.jp/>

## ■ 本件のお問い合わせ先

株式会社ヘッドウォータース

メール：[info@ml.headwaters.co.jp](mailto:info@ml.headwaters.co.jp)

■